

平成25年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	single digit ナノスケール場の破壊力学
研究代表者	北村 隆行
審査の所見	<p>本研究は、応募者のこれまで行ってきた、10nm 以上の研究成果を基盤として、未踏領域の「1nm から 10nm」の構造体の変形と破壊に着目し、その学理の確立を目指す部分で大きな特徴があり、独創的である。</p> <p>また、従来から開発してきた実験手法を元に、ナノスケールでの革新的な実験手法に展開する点も評価できる。</p> <p>極微小構造体の変形と破壊の研究に対しては、現象面から大きな学術的興味もたれており、それを支配する力学が何であるかという学理を明らかにできると期待される。</p> <p>以上により、特別推進研究に相応しい研究として採択すべき課題であると判断した。</p>